

生徒による竹林整備の取組

～放置竹林の整備で地域貢献～

三重県立桑名工業高等学校



竹林整備の講義



竹林整備の様子



卒業制作（竹あかり）



伐採した竹のチップ化



うちわづくり

ねらい

- ・ 地域における放置竹林の問題について学ぶ
- ・ 生徒自ら竹林整備を行い、学校周辺の環境整備及び地域貢献を図る

取組内容

当校では令和2年度から、地域の課題である放置竹林対策など竹林の現状をテーマとし、課題研究の授業をスタートしています。

桑名市農林水産課、NPO法人桑竹会から講師を招き、地域の竹林に関する講義、安全衛生講習を受けた後、学校に隣接する竹林において竹林整備の実習を行いました。実習は、講師が切り倒した竹を生徒がノコギリで2～3mに小切り、林内に整理、集積したものを、移動式チップパーで粉砕する作業を行いました。

また、竹林整備により発生する竹材の利活用の検討では、卒業記念作品の製作、「日永うちわ」の製作を通じた伝統工芸の継承についての学習、流しそうめんによるイベントの発案等を行いました。

放置竹林の現状を理解し、竹林整備や竹材の利活用に取り組むことで、地域の課題解決に向けて総合的に考える貴重な経験となりました。

内 容	・ 地域竹林に関する講義 ・ 竹林整備の実習 ・ 日永うちわ等の製作体験
時 間	3 時間× 20 回
場 所	実習教室、桑名市内
対 象	デュアルシステム専攻 3 年生 10 人
講 師	桑名市農林水産課、NPO法人桑竹会、 榎稲藤（日永うちわ）
備 考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」 を活用した市事業「里山再生・竹林 整備推進事業」

【先生のコメント】 デュアルシステム専攻の生徒は、週に1日、一年を通して地域の企業を訪問しての実習を行うほか、校内学習として課題研究を行っています。今回は、産学官で連携して、地域の課題解決に向けた取組を検討しました。行政、企業、NPOといった多様な団体と関わる体験を通じて、社会に出て活躍できる人材に育てて欲しいと考えています。